

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	システム開発演習	授業科目名	Scratch基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	井上八雲	講師区分	必修選択	分類	一般教員
[授業のねらい・概要] Scratchの基本操作を習得する					
[到達目標] Scratchの機能を習熟し、簡単な作品を制作できること アルゴリズムの概念を理解し、簡単なアルゴリズムを実装できること デバッグの基本的な考え方を理解し、プログラムの誤りを修正できること					
[成績評価基準] 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 小テスト得点率(30%)、課題の内容評価(40%)、受講態度(30%)					
[授業時間外に必要な学習内容]					
[教材・検定] 教材:オリジナルテキスト 検定:なし					
[必要な費用] 教材費:0円 検定費:0円					
[履修にあたっての留意点]					
[実務教員の実務経験]					
[備 考]					
コマ	授業計画・内容				
1	環境設定・画面 概要説明				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習	授業科目名	Java基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	井上八雲	講師区分	必修選択	分類	一般教員
〔授業のねらい・概要〕 Javaの基礎構文を学習します。					
〔到達目標〕 ・Javaを使ったCLIアプリケーションの開発ができること ・オブジェクト指向の概念を理解すること。					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 定期試験得点率(40%)、検定試験(20%)、課題の内容評価(40%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕 授業時間内に必須課題が終わらない場合は空き時間に取り組むこと					
〔教材・検定〕 教材:オリジナルテキスト 検定: Javaプログラミング能力認定試験3級(サーティファイ)					
〔必要な費用〕 教材費:0円 検定費:5400円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	オリエンテーション、環境構築、HelloWorld				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	Python基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	佐々木磨生	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
Pythonの基礎構文を学習します。						
〔到達目標〕						
・ Pythonを使ったCLIアプリケーションの開発ができること ・ オブジェクト指向の概念を理解すること。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目: 課題の内容評価(40%)、定期試験得点率(40%)、検定試験(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
時間内に終わらない課題は放課後等の時間を活用して取り組むこと						
〔教材・検定〕						
教材: スッキリわかるPython入門						
検定: Pythonプログラミング能力認定試験3級						
〔必要な費用〕						
教材費: 2140円						
検定費: 4000円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	HTML/CSS基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	高田利恵	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
Webサイト制作のための基礎知識として、HTML5+CSS3の技術を習得する。						
〔到達目標〕						
①HTML、CSSの基礎知識を習得している。 ②HTML、CSSを使用し、Webサイトを作成することができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(80%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
授業時間内に課題が終わらない場合、また、課題再提出となった場合は、授業時間外に取り組む必要がある。						
〔教材・検定〕						
教材：1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座(SB Creative) 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：2486円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
課題の提出をGitHubにて管理するため、バージョン管理についての内容も授業計画に含む。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	データベース基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	佐藤光寿	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
IT業界への入門の位置づけである国家資格「基本情報技術者試験」「ITパスポート」の合格を目指し、データベース分野の基礎知識を習得する。						
〔到達目標〕						
ITパスポート試験および基本情報技術者試験のデータベース分野の知識を得ている。 データベース問い合わせのための基本的なSQLが書ける。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 定期試験得点率(70%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：インフォテックサーブ「ITワールド」 インフォテックサーブ「ITワールド サブノート」 オリジナル教材 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
入学時に配布したテキストを利用します。そのため、教材費は発生しません。						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	テクノロジー		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	佐藤光寿	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
IT業界への入門の位置づけである国家資格「基本情報技術者試験」「ITパスポート」の合格を目指し、テクノロジー分野の基礎知識を習得する。						
〔到達目標〕						
ITパスポート試験および基本情報技術者試験のテクノロジー分野の知識を得ている。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 定期試験得点率(50%)、小テスト得点率(20%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：インフォテックサーブ「ITワールド」 インフォテックサーブ「ITワールド サブノート」 オリジナル教材 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
入学時に配布したテキストを利用します。そのため、教材費は発生しません。						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	ストラテジ/マネジメント		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	佐藤光寿	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
IT業界への入門の位置づけである国家資格「基本情報技術者試験」「ITパスポート試験」の合格を目指し、マネジメントおよびストラテジについての基礎知識を習得する。						
〔到達目標〕						
ITパスポート試験および基本情報技術者試験科目Aのストラテジ系およびマネジメント系分野において、正答率60%以上を取得すること。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、小テスト得点率(20%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：インフォテックサーブ「IT戦略とマネジメント」 インフォテックサーブ「IT戦略とマネジメント サブノート」 オリジナル教材						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
入学時に配布したテキストを利用します。そのため、教材費は発生しません。						

[illegible]

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	セキュリティ/ネットワーク		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	佐藤光寿	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
情報ネットワークを設計・構築の基礎となるプロトコル階層の概念を理解し、ネットワークを通じて情報がどのように伝送、処理されるのかについて学習する。						
〔到達目標〕						
ITパスポート試験および基本情報技術者試験のネットワーク分野の知識を得ている。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、小テスト得点率(20%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：インフォテックサーブ「ITワールド」 インフォテックサーブ「ITワールド サブノート」 オリジナル教材						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
入学時に配布したテキストを利用します。そのため、教材費は発生しません。						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	アルゴリズム		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	高田利恵	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
IT業界への入門の位置づけである国家資格「基本情報技術者試験」「ITパスポート」の合格を目指し、アルゴリズム分野の基礎知識を習得する。						
〔到達目標〕						
①代表的なデータ構造とアルゴリズムを説明できる。 ②問題と疑似言語を読み解き、適切なアルゴリズムを選択することができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 定期試験得点率(70%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：アルゴリズムとデータ構造(ウィネット) 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：2860円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、アルゴリズムと問題分析					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	Java応用(JavaFX)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	井上八雲	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
データベースと連携したアプリケーション開発ができるようになる						
〔到達目標〕						
データベース、簡単なゲーム、業務アプリ開発など、様々な開発を通じ実践的なスキルを身に着ける						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(40%)、課題の内容評価(40%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナルテキスト						
検定:なし						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	Python応用(tkinter)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	佐々木磨生	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
GUIアプリ開発用ライブラリ「tkinter」を用いて、デスクトップアプリケーションを開発する技術を学習します。						
〔到達目標〕						
デスクトップアプリケーションやその周辺の仕組みについて理解すること。 GUIライブラリへの理解を深めたうえで、デスクトップアプリケーションを制作することができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題提出率(40%)、課題の内容評価(40%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
時間内に終わらない課題は放課後等の時間を活用して取り組むこと						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナルテキスト						
検定:なし						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	システム開発演習	授業科目名	HTML/CSS応用		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	高田利恵	講師区分	必修選択	分類	一般教員
〔授業のねらい・概要〕 現代のWeb開発に不可欠なレスポンシブデザインと、CSSのフレームワーク「Bootstrap」の使い方を習得する。					
〔到達目標〕 ①ターゲットごとにUIを考慮したWebデザインを考え、実装することができる。 ②多様なデバイスに対応したWebサイトを、効率的に制作することができる。					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(80%)、受講態度(20%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕 授業時間内に課題が終わらない場合、また、課題再提出となった場合は、授業時間外に取り組む必要がある。					
〔教材・検定〕 教材： 検定：					
〔必要な費用〕 教材費：0円 検定費：0円					
〔履修にあたっての留意点〕 「HTML/CSS基礎」の単位を取得済みであることが履修の条件とする。					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	オリエンテーション、レスポンシブデザイン				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	データベース応用		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	細川潤哉	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
データベースシステムの設計・開発・導入・運用ができる技術者に必要なスキルを習得する。						
〔到達目標〕						
・データベースに関する基礎的な知識を有する。 ・小規模なデータベースの開発と運用管理ができる。 ・データベースのパフォーマンスチューニングができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(35%)、課題の内容評価(35%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
「OSS-DB Silver」を受験するためには本授業をベースとした自主学習が必要です。 ※本授業では試験対策は行いません。						
〔教材・検定〕						
教材：オープンソースデータベース標準教科書(1,300円)、OSS-DB Silver 試験対策問題集 Ver3.0対応(4,400円)						
検定：OSS-DB Silver						
〔必要な費用〕						
教材費：5700円						
検定費：16500円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本授業では、DBMSとしてLinux環境で動作するPostgreSQLを利用します。また、DBサーバの構築は、Dockerを利用する予定です。そのため、Linuxコマンドの基礎がわかることが事前知識として必須となります。 学習習得状況把握のため「OSS-DB Silver」を受験していただきます。試験で一定以上の評価を得られることが成績評価の条件です。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	チーム開発演習(Git/GitHub)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	高田利恵	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
Git、GitHubを使った開発手法を理解し、チームによるWebサイト制作を通して、既知の知識や技術力の応用、チームで開発する際に必要な能力を身につける。						
〔到達目標〕						
①Git、GitHubの使い方を理解すること。 ②Git、GitHubを活用したチームでのWebサイト制作ができること。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(60%)、受講態度(40%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
「HTML/CSS基礎」の単位を取得済みであることが履修の条件とする。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、バージョン管理について復習					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	Webデザイン		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
Figmaを活用したWebサイト・アプリの効果的なデザイン制作を学ぶ						
〔到達目標〕						
①Figmaの基本的な利用方法を理解できる。 ②実用的なWebサイト・アプリのデザインを作成できる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 受講態度(50%)、課題の内容評価(30%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:なし 検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円 検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
企業・個人サイトの制作業務経験						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	Figmaの概要・利用方法					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	Linux基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	細川潤哉	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
サーバ系OSとして利用されるLinuxの基本操作を習得する。また、サーバの運用に利用するシェルスクリプトを実行する各コマンドを習得する。						
〔到達目標〕						
①Linuxのコマンドを理解し、管理者としてグループやユーザ、ネットワークの設定と管理ができる						
②Linuxのファイルシステムを理解し、ファイル管理ができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(35%)、課題の内容評価(35%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：Linux標準教科書(2300円程度)、Linuxサーバー構築標準教科書(1800円程度)、オリジナルプリント						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：4100円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	コーディング試験対策(競プロ)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
AtCoderやPaiza、Techfulなどで競技プログラミングの問題演習を行い、採用試験のコーディングテストに対応する能力を高める						
〔到達目標〕						
競技プログラミングに慣れ、コーディング試験に対して苦手意識を克服すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題提出率(50%)、出席率(20%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、Paiza/Techfulのアカウント登録					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	Java Silver対策		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	井上八雲	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
試験対策を通して、論理的思考力、問題解決能力、および自己学習能力を向上させる						
〔到達目標〕						
・ Java Silver認定資格の試験範囲を網羅し、合格レベルの知識とスキルを習得する ・ Java Silver試験に合格し、資格を取得する						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 検定試験(40%)、出席率(30%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：Oracle認定JavaプログラマーSilver						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：37730円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
各自配られたバウチャーチケットを使って試験センターにて検定を受験します						
コマ	授業計画・内容					
1～5	問題演習取り組み(解説・補足説明)					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン	授業科目名	TOEIC対策		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義	授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師		講師区分	必修選択	分類	
〔授業のねらい・概要〕					
〔到達目標〕					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： ()、()					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材： 検定：					
〔必要な費用〕 教材費：0円 検定費：0円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	オリエンテーション、環境構築				

2	標準出力
3	変数
4	演算子
5~7	条件分岐
8~10	条件分岐
11~13	条件分岐
14	条件分岐
15	条件分岐
16	条件分岐
17	条件分岐
18	条件分岐
19	条件分岐
20	条件分岐
21	条件分岐
22	条件分岐
23	条件分岐
24	条件分岐
25	条件分岐
26	条件分岐
27	条件分岐
28	条件分岐
29	条件分岐
30	条件分岐
31	条件分岐
32	条件分岐
33	条件分岐
34	条件分岐
35	条件分岐
36	条件分岐
37	条件分岐
38	条件分岐
39	条件分岐
40	条件分岐
41	条件分岐
42	条件分岐
43	条件分岐
44	条件分岐
45	条件分岐

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	J検対策		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	佐藤光寿	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
文部科学省後援の情報検定の学習を通して基礎的なITスキルを習得すること。本科目では情報システム試験の基本スキル、プログラミングスキル、システムデザインスキルの3科目を受験します。						
〔到達目標〕						
情報システム試験の3科目に合格し、プログラマ認定・システムエンジニア認定を獲得すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 検定試験(60%)、出席率(20%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナル教材 検定: J検定						
〔必要な費用〕						
教材費: 0円 検定費: 11000円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本校の「テクノロジー」「ストラテジ/マネジメント」「ネットワーク/セキュリティ」「アルゴリズム」を履修していること。 または、それに相当する能力を有していること。 (必須ではありませんが、基本的に問題演習なので上記を学習していることを強くお勧めします。)						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
J検定は不合格の場合に無料で再受験ができます。						
コマ	授業計画・内容					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	ITパスポート対策		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	佐藤光寿	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
ITパスポートの問題演習を通して、試験問題に慣れること						
〔到達目標〕						
ITパスポート試験に合格すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(20%)、検定試験(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定:ITパスポート						
〔必要な費用〕						
教材費:0円 検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
ITパスポートの受験は必須ではないが、成績評価項目に入っているため、受験を強くお勧めします。 なお、全員受験で無いため検定費の徴収はございません。 検定申し込み時の受験料は学校経由ではなく、ご自身で支払いをしてください。						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	基本情報科目A対策		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	佐藤光寿	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
基本情報技術者試験科目Aの問題演習を通して、試験問題に慣れること						
〔到達目標〕						
基本情報技術者試験科目A試験に合格すること、または基本情報技術者試験科目A免除試験に合格すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(20%)、検定試験(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：基本情報技術者試験						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
基本情報技術者試験の受験は必須ではないが、成績評価項目に入っているため、受験を強くお勧めし なお、全員受験で無いため検定費の徴収はございません。 検定申し込み時の受験料は学校経由ではなく、ご自身で支払いをしてください。						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	基本情報科目B対策		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	佐藤光寿	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
基本情報技術者試験科目Bの問題演習を通して、試験問題に慣れること						
〔到達目標〕						
基本情報技術者試験科目B試験に合格すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(20%)、検定試験(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：基本情報技術者試験						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
基本情報技術者試験の受験は必須ではないが、成績評価項目に入っているため、受験を強くお勧め なお、全員受験で無いため検定費の徴収はございません。 検定申し込み時の受験料は学校経由ではなく、ご自身で支払いをしてください。						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	応用情報対策(午前試験)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	佐藤光寿	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
応用情報技術者試験午前試験の問題演習を通して試験問題が解けるようになること						
〔到達目標〕						
応用情報技術者試験午前試験に合格すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目: 定期試験得点率(50%)、受講態度(20%)、出席率(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材: 検定: 応用情報技術者試験						
〔必要な費用〕						
教材費: 0円 検定費: 0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、応用情報技術者試験とは					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	応用情報対策(午後試験)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	佐藤光寿	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
旧基本情報技術者試験問題を解き、長文問題になれること。また、応用情報技術者試験午後試験の問題演習を通して試験問題が解けるようになること。						
〔到達目標〕						
応用情報技術者試験午後試験に合格すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(20%)、出席率(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：応用情報技術者試験						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、応用情報技術者試験とは					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	高度情報対策		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	高橋洋平	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
高度情報試験に合格するべく問題演習に取り組むこと						
〔到達目標〕						
任意の高度情報技術者試験の午前Ⅱ試験、午後Ⅰ試験、午後Ⅱ試験に合格すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(30%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：高度情報技術者試験						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
応用情報技術者試験に合格していること、またはそれに相当する知識を有していること						
〔実務教員の実務経験〕						
SIer として金融系のシステム開発に従事						
〔備 考〕						
午前Ⅰ試験対策は行いません。 応用情報技術者試験に合格して午前Ⅰ試験免除の資格を獲得しておくことを推奨します						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	SPI/CAB/GAB		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	松高久美子	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
適性検査（SPI,CAB,一般常識）で出題される問題の演習を通して、社会人として必要とされる「論理的思考力、文章読解力」を身につける。						
〔到達目標〕						
各単元の解法を理解・応用し、制限時間内に正確に問題を解くことができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 小テスト得点率(40%)、定期試験得点率(40%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
授業時間内で終了できない課題は時間外を利用して終了させること。						
〔教材・検定〕						
教材：SPI対策問題集[実務教育出版]						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：680円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
IT系の就職試験（筆記試験）対策の授業です。						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	プレゼンテーション		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	松高久美子	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
プレゼンテーションに求められる論理的整理術、伝達技術の基礎を学び、プレゼンテーションの演習によって表現能力、手法を習得する。						
〔到達目標〕						
学習・研究内容を状況・聴衆（聞き手）に合わせ、適切なプレゼンテーションができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(50%)、受講態度(40%)、課題提出率(10%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
実習準備・課題について演習時間内に終わらないものがあれば、授業時間外に行い、期限までに提出すること。						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナル						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	ビジネスマナー		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期/後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	松森良子	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
講義で社会人にとって必要な一般常識、基本的なビジネスマナーを確認。グループワークやロールプレイングの実践演習で、実務能力を身につける。						
〔到達目標〕						
ビジネスパーソンとしての常識、マナーを理解し、自らの生活、業務で活用することができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 出席率(10%)、受講態度(50%)、課題の内容評価(40%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：イラストでわかる!最新ビジネスマナーの基本、美しい正しい字が書けるペン字練習帳						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：1870円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、自己紹介					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習	授業科目名	Java応用(Spring Boot)①		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	高橋洋平	講師区分	必修選択	分類	実務教員
〔授業のねらい・概要〕 業務システムの開発で主流のフレームワークである Spring Boot についての基礎的な知識を習得し、MPA(マルチページアプリケーション)が開発できるようになること					
〔到達目標〕 Spring Boot の基礎知識を身に付け、Webアプリケーションが作れるようになること					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(80%)、受講態度(20%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕 授業時間内に課題の開発が終わらない場合は授業時間外で補うこと					
〔教材・検定〕 教材:オリジナル教材 検定:					
〔必要な費用〕 教材費:0円 検定費:0円					
〔履修にあたっての留意点〕 本校の「Java基礎」「データベース基礎」「HTML/CSS基礎」を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。) 必須ではありませんが、「Java応用(JavaFX)」「HTML/CSS応用」も履修していると授業をより理解しやすいです。					
〔実務教員の実務経験〕 Sier として金融系のシステム開発に従事					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	オリエンテーション、環境構築				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	Java応用(Spring Boot)②		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	高橋洋平	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
RESTful API の概念を理解し、Spring Boot を用いて RESTful API が作成できるようになること。						
〔到達目標〕						
SPA 開発に必要なバックエンドの RESTful API を Spring Boot を用いて開発できること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(80%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
授業時間内に課題の開発が終わらない場合は授業時間外で補うこと						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナル教材						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本校の「Java応用(Spring Boot)①」を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。)						
〔実務教員の実務経験〕						
SIer として金融系のシステム開発に従事						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	システム開発演習	授業科目名	Python応用(Django)①		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	佐々木磨生	講師区分	必修選択	分類	一般教員
〔授業のねらい・概要〕 Webアプリ開発用フレームワーク「Django」を用いて、Webアプリケーションを開発する技術を学習します。					
〔到達目標〕 Webアプリケーションや周辺の仕組みについて理解すること。 フレームワークへの理解を深めたうえで、Webアプリケーションを制作することができる。					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題提出率(40%)、課題の内容評価(40%)、受講態度(20%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕 時間内に終わらない課題は放課後等の時間を活用して取り組むこと					
〔教材・検定〕 教材：現場で使える Django の教科書《基礎編》[4.2 LTS 対応版] 検定：なし					
〔必要な費用〕 教材費：1980円 検定費：0円					
〔履修にあたっての留意点〕 本校の「Python基礎」「データベース基礎」「HTML/CSS基礎」を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。) 必須ではありませんが、「Python応用(tkinter)」「HTML/CSS応用」も履修していると授業をより理解しやすいです。					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	オリエンテーション、環境構築				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習	授業科目名	Python応用(Django)②		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	鈴木亮	講師区分	必修選択	分類	実務教員
〔授業のねらい・概要〕 まずDjangoでRESTful APIが作れること。次にDjango以外のフレームワークでもRESTful APIを構築できること。					
〔到達目標〕 RESTfulの概念を理解すること。RESTful APIの仕様を定義できること。DjangoでRESTful APIが作れること。RESTful APIのテストを書けること。					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目: 課題の内容評価(50%)、課題提出率(30%)、出席率(20%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材:なし 検定:なし					
〔必要な費用〕 教材費:0円 検定費:0円					
〔履修にあたっての留意点〕 本校の「Python応用(Django)①」を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。)					
〔実務教員の実務経験〕 各種フレームワークを活用したWebアプリケーションの開発、クラウドを活用したサーバーレスアプリケーションの開発、TypeScriptを利用したSPAアプリケーションの開発、企業や団体のDX推進、オープンソースソフトウェアへのコントリビュート。					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	オリエンテーション、環境構築				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	CSS応用(Tailwind)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
Tailwind CSSの効果的な活用法を学び、Webサイト・アプリへの適用方法を習得する						
〔到達目標〕						
①Tailwind CSSの実践的な利用方法を理解できる。 ②Tailwind CSSを利用する利点を理解できる。 ③Tailwind CSSを用いたサイト・アプリのデザインができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 受講態度(50%)、課題の内容評価(30%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：基礎から学ぶ Tailwind CSS 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：3762円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本校のHTML/CSS基礎を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。)						
〔実務教員の実務経験〕						
CSSフレームワークを利用したWebアプリケーション開発業務に従事						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	Tailwind CSSの概要・導入					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	JavaScript基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
JavaScriptの基礎構文を学び、Webサイト・アプリ上での効果的な利用方を習得する。						
〔到達目標〕						
①JavaScriptの基礎知識を習得できる。 ②JavaScriptによるDOM操作を行える。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(50%)、受講態度(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：なし 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
2言語目以降を想定した授業です。 そのため、本校の別のプログラミング系の科目を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。)						
〔実務教員の実務経験〕						
JavaScriptを使用したWebサイト・アプリケーションの制作・開発業務に従事						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	JavaScriptの基礎・記述方法					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	React基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
React.jsの利用方法を学び、実用的なWebアプリケーションの作成を目指す。						
〔到達目標〕						
①React.jsの効果的な利用個所を理解する事。 ②React.jsによるシングルページアプリケーションが作成出来る事。 ③React.jsにおけるコンポーネントを利用した開発手法を身に着ける事。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(50%)、受講態度(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：なし 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本校のJavaScript基礎を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。)						
〔実務教員の実務経験〕						
React.jsを利用したWebアプリケーション開発業務に従事						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	React.js概要・フロントエンド開発の手法					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論	授業科目名	LinuC対策		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	細川潤哉	講師区分	必修選択	分類	一般教員
〔授業のねらい・概要〕 コンピュータシステムを理解し、仮想環境を含むLinuxシステムの基本操作とシステム管理が行える即戦力があることを自己証明する。					
〔到達目標〕 Linux技術者認定「LinuC（リナック）」を受験し、一定以上の評価を得ること。					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 検定試験(35%)、定期試験得点率(35%)、受講態度(30%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材：最短突破 LinuCレベル1 バージョン10.0合格教本[101試験, 102試験対応] 改訂新版(3,960円) 検定：LinuCレベル1 101試験(受験料16,500円)					
〔必要な費用〕 教材費：3960円 検定費：16500円					
〔履修にあたっての留意点〕 事前履修科目としてLinux基礎を指定します。または、Linux基礎修了と同等と認められれば受講を認めますので、履修登録する前に教員に相談してください。					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕 LinuCレベル1を取得するには101試験と102試験の2試験に合格する必要がありますが、本授業で成績評価の対象とするのは、101試験の受験結果となります。					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	AWS基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	鈴木亮	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
AWS Academyを使いながら体系的にクラウドを理解する。VPC、EC2、S3、RDS等のサービスを組み合わせてシステムを構成する手法を学ぶ。						
〔到達目標〕						
AWS Academy Cloud Foundations コースを修了する。AWS 認定クラウドプラクティショナーの検定試験に合格する。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(40%)、課題の内容評価(40%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
基本情報技術者試験レベルのIT基礎知識						
〔教材・検定〕						
教材:Udemy教材						
検定:AWS Certified Cloud Practitioner						
〔必要な費用〕						
教材費:3000円						
検定費:15000円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本校のLinux基礎を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。)						
〔実務教員の実務経験〕						
各種フレームワークを活用したWebアプリケーションの開発、クラウドを活用したサーバーレスアプリケーションの開発、TypeScriptを利用したSPAアプリケーションの開発、企業や団体のDX推進、オープンソースソフトウェアへのコントリビュート。						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	AWS応用		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	鈴木亮	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
AWSの各種サービスの高度な使い方を学ぶ。自分で設計したシステムをクラウド上に構築する演習を行う。伸縮自在性・高可用性を備えたアーキテクチャを構築する。						
〔到達目標〕						
AWSの各種サービスを組み合わせてインフラとサービスの設計をすることができる。CloudFormationやTerraformを利用して、インフラ構築のコード化と自動化ができる。自分の作りたいシステムをクラウドを最大限活用して構築することができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(80%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：AWS Academy Cloud Architecting						
検定：なし						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
AWS基礎を履修していること						
〔実務教員の実務経験〕						
各種フレームワークを活用したWebアプリケーションの開発、クラウドを活用したサーバーレスアプリケーションの開発、TypeScriptを利用したSPAアプリケーションの開発、企業や団体のDX推進、オープンソースソフトウェアへのコントリビュート。						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発実践		授業科目名	チーム開発演習		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	細川潤哉	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
品質の高いアプリケーションの開発につなげるために、設計工程の重要性を学ぶ。また、チームによるシステム開発経験を通し、開発の進捗管理や情報共有など、プロジェクト開発に必要な知識と態度を身につける。						
〔到達目標〕						
コミュニケーションを取り、チームでのシステム開発を円滑に行うことができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 受講態度(50%)、課題の内容評価(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナル教材						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
Windows上におけるデスクトップアプリケーションの開発を念頭にする。GUIのフレームワークとしては、tkinterやJavaFXフレームワークが望ましい。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、各設計書の説明					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発実践		授業科目名	Webページ開発演習		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
身に付けたHTML/CSSの技術を発揮し、チームでのWebページ開発を通して、技術の習熟度を向上させる						
〔到達目標〕						
コミュニケーションを取り、チームでのWebページ開発を円滑に行うことができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(50%)、受講態度(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本校の「HTML/CSS基礎」「チーム開発演習(Git/GitHub)」を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。)						
〔実務教員の実務経験〕						
JavaScriptを使用したWebサイト・アプリケーションの制作・開発業務に従事						
〔備 考〕						
企業連携のWebページ開発を行う場合もあります。						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、チームビルディング					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発実践		授業科目名	システム設計演習		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	山口裕	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
架空の業務システムを想定したチームによるシステム開発演習を通して、開発手法やチーム開発で必要となるコミュニケーション能力を身につける。						
〔到達目標〕						
①コミュニケーションを取り、チームでのシステム開発を円滑に行うことができる。 ②要件定義から基礎設計まで作業を実施できる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題提出率(60%)、受講態度(30%)、出席率(10%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナル教材						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、システム設計の手法					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発実践		授業科目名	プロジェクト開発演習		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	3年～	開講期間	前期
授業方法	演習		授業コマ数	60コマ(120単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
チームによるシステム開発演習を通して、開発手法やチーム開発で必要となるコミュニケーション能力を身につける						
〔到達目標〕						
①コミュニケーションを取り、チームでのシステム開発を円滑に行うことができる						
②要件定義から開発工程まで作業を体験する						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(30%)、発表会(30%)、受講態度(40%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
JavaScriptを使用したWebサイト・アプリケーションの制作・開発業務に従事						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、チームビルディング					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名		システム開発実践		授業科目名	アジャイル開発基礎		
受講可能学科		情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法		講義		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師		細川潤哉	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕							
アジャイル開発を使ってソフトウェアを迅速に開発できる技術者になること ソフトウェアのチーム開発ができる技術者になること							
〔到達目標〕							
プログラムコードの簡易テストやソフトウェアのリリースができる。 WBSとカンバンによるスケジュール管理ができる。 全体設計に必要なUML図の記述方法を習得する。 スクラム開発の手法によりソフトウェアを開発できる。							
〔成績評価基準〕							
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 受講態度(35%)、課題提出率(35%)、課題の内容評価(30%)							
〔授業時間外に必要な学習内容〕							
〔教材・検定〕							
教材:オリジナル教材 検定:							
〔必要な費用〕							
教材費:0円 検定費:0円							
〔履修にあたっての留意点〕							
本授業は、ソースコード管理やGihHubの連携にgitを利用します。そのため、コマンドラインでgitコマンドが利用できるスキルが前提となります。 令和7年度に開講する本授業については、ソフトウェアの開発言語をPython言語に限定します。 (令和8年度よりPython言語とJava言語の両方に対応予定です)							
〔実務教員の実務経験〕							
〔備 考〕							
コマ		授業計画・内容					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	システム開発実践		授業科目名	アジャイル開発実践		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	演習		授業コマ数	75コマ(150単位時間)		
担当講師	細川潤哉	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
アジャイル開発を用いて、ソフトウェア（スマホアプリ）を迅速に開発できる技術者になること。ソフトウェアのチーム開発ができる技術者になること。						
〔到達目標〕						
プログラムコードの簡易テストやソフトウェアのリリースができる。WBSとカンバンによるスケジュール管理ができる。全体設計に必要なUML図の記述方法を習得する。スクラム開発の手法によりソフトウェアを開発できる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 受講態度(50%)、課題の内容評価(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナル教材						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
アジャイル開発基礎(前期開講週2コマ)を受講し、スクラム開発の手順等を把握していること。 令和7年度に開講する本授業については、ソフトウェアの開発言語はPython言語を利用します。 また、フレームワークとしてKivyを使用します。 Python言語を未習得の学生は、Python言語を事前に習得して受講するようにしてください。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、Kivyフレームワークについて					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	テスト基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	3年～	開講期間	前期
授業方法	講義		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	鈴木亮	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
ソフトウェアをテストする意味と方法を学ぶ。職業としてのソフトウェアエンジニアが、品質の高いシステムを構築する方法を身につける。						
〔到達目標〕						
テストの考え方や実装方法を習得する。テストファーストなテスト駆動開発を身につける。テストの自動化、CI/CD（継続的インテグレーション・継続的デリバリー）を習得する。Github ActionsやCircleCIを使ってテストを回す。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(80%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：なし 検定：なし						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
gitとgithubを使えること						
〔実務教員の実務経験〕						
各種フレームワークを活用したWebアプリケーションの開発、クラウドを活用したサーバーレスアプリケーションの開発、TypeScriptを利用したSPAアプリケーションの開発、企業や団体のDX推進、オープンソースソフトウェアへのコントリビュート。						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	テスト駆動開発(TDD)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	3年～	開講期間	後期
授業方法	演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	細川潤哉	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
ソフトウェアテストの必要性を理解し、ソフトウェアテスト技法で選定したテストケースでテストができるようになる。						
〔到達目標〕						
①ソフトウェアテスト技法でテストケースが選定できる ②ソフトウェアテスト技法で選定したテストケースでテストが実装できる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 受講態度(40%)、課題の内容評価(60%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：テスト駆動開発（アジャイルソフトウェア開発技術シリーズ・応用編）(2,750円) 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：2750円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本講義で行うテスト駆動開発においての応用実習について、Python言語ならびにPythonプログラムのユニットテストを行うためのフレームワーク(unittest、pytest)、または、Java言語ならびにJavaプログラムのユニットテストを行うためのフレームワーク(JUnit)を利用予定です。講義受講学生の動向を確認後、利用する言語とフレームワークを決定します。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	ソフトウェアテスト技法の同値分割法・境界値分析を理解する					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	E2Eテスト		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	3年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	鈴木亮	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
主にWebアプリを対象とした、ブラウザを自動操縦するE2Eテストを身につける。各種テスト用ライブラリやフレームワークの利用方法を習得する。演習課題を通して実践方法を学ぶ。						
〔到達目標〕						
E2Eテスト手法でシステムの品質を確保することができる。Playwrightでブラウザ自動操縦によるE2Eテストを構築することができる。仕様に基づいてテストシナリオを構築することができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(80%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：なし 検定：なし						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
テスト基礎を受講済が望ましい						
〔実務教員の実務経験〕						
各種フレームワークを活用したWebアプリケーションの開発、クラウドを活用したサーバーレスアプリケーションの開発、TypeScriptを利用したSPAアプリケーションの開発、企業や団体のDX推進、オープンソースソフトウェアへのコントリビュート。						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	C#基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	山口裕	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
C#言語を利用してプログラミング技術を身につけ、プログラミングに必要なアルゴリズムを実装できる。						
〔到達目標〕						
①C#言語の書式を理解しプログラミングができる。 ②オブジェクト指向の考え方ができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題提出率(50%)、受講態度(30%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナル教材 検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円 検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、VisualStuidoのインストール					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	Unity基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	佐々木磨生	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
ゲームエンジン「Unity」を用いて、PC/Androidゲームを開発する技術を学習します。						
〔到達目標〕						
プログラミング言語「C#」の基礎を理解すること。 Unityを用いて、カジュアルゲーム開発ができること。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題提出率(20%)、課題の内容評価(60%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
時間内に終わらない課題は放課後等の時間を活用して取り組むこと						
〔教材・検定〕						
教材：Unityの教科書 Unity 6完全対応版						
検定：なし						
〔必要な費用〕						
教材費：2970円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習	授業科目名	Unity応用		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	佐々木磨生	講師区分	必修選択	分類	一般教員
〔授業のねらい・概要〕 イベント駆動型プログラミングや非同期処理を活用し、ライブラリを用いたゲーム開発の応用技術を学習します。					
〔到達目標〕 イベント駆動型プログラミングや非同期処理の概念を理解し、適切なライブラリを用いてオンラインゲームを開発できること。					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題提出率(20%)、課題の内容評価(60%)、受講態度(20%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕 時間内に終わらない課題は放課後等の時間を活用して取り組むこと					
〔教材・検定〕 教材:オリジナルテキスト 検定:なし					
〔必要な費用〕 教材費:0円 検定費:0円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	UniTask				

2	UniRx
3	DoTween
4	Addressable
5	Unityにおける3Dモデル基礎
6	キャラクターシェイプ
7	アニメーション応用
8	ローカル対戦ゲーム(アセット準備)
9~11	ローカル対戦ゲーム(キャラクター操作)
12~13	ローカル対戦ゲーム(入力受付)
14~16	ローカル対戦ゲーム(ゲームシステム
17	ローカル対戦ゲーム(UIとステージ)
18	MLAPI
19	MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(接続機能)
20	MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(入力対応)
21	MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(オンライン上での座標同期)
22	MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(オンライン上での回転同期)
23	MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(弾丸作成)
24	MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(オンライン上での弾丸同期)
25	MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(体力の実装)
26	MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(オンライン上での体力の同期)
27	MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(ダメージの実装)
28	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(オンライン上でのダメージの同期)
29	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(コインの実装)
30	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(オンライン上でのコインの同期)
31	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(対戦開始処理)
32	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(ミニマップ)
33	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(エフェクトとコスト消費)
34	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(メインメニュー画面の実装)
35	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(ホストとクライアント接続)
36~37	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(ルーム作成)
38	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(安全な切断)
39	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(スポンと追従カメラ)
40	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(スコアボード)
41	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(ヒーリングゾーン)
42	条件分岐MLAPIを用いたオンライン対戦ゲーム(残機と復活)
43~45	期末課題

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	3Dモデリング		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	佐々木磨生	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
3Dモデリングツール「Blender」を用いて、3Dモデルの作成技術を学習します。						
〔到達目標〕						
3Dモデリングの基礎を理解すること。 Blenderを用いて、オリジナルの3Dモデルを作成できること。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題提出率(40%)、課題の内容評価(40%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
時間内に終わらない課題は放課後等の時間を活用して取り組むこと						
〔教材・検定〕						
教材:(解説動画付)ミニチュア作りで楽しくはじめる 10日でBlender 4入門						
検定:なし						
〔必要な費用〕						
教材費:2530円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	システム開発演習	授業科目名	PHP基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員
〔授業のねらい・概要〕 PHPの基礎を理解し、簡易的なアプリケーションが作成できる。					
〔到達目標〕 ①PHPの基礎知識を習得している。 ②データベースと連携したWebアプリケーションが作成できる。 ③脆弱性を理解し、安全性を考慮したプログラミングを理解している。					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(50%)、受講態度(50%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材：なし 検定：					
〔必要な費用〕 教材費：0円 検定費：0円					
〔履修にあたっての留意点〕 2言語目以降を想定した授業です。 そのため、本校の別のプログラミング系の科目を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。)					
〔実務教員の実務経験〕 PHPを利用したWebアプリケーション開発業務に従事					
〔備考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	オリエンテーション、環境構築				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習	授業科目名	PHP応用 WordPress		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習	授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員
〔授業のねらい・概要〕 Wordpressのインストールと基本的な使い方、及びカスタマイズについて理解する。					
〔到達目標〕 ①WordPressの環境を構築できる。 ②WordPressの基本的な使い方を理解できる。 ③プラグインによるカスタマイズができる。 ④オリジナルのテーマを作成することができる。					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(50%)、受講態度(50%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材：なし 検定：					
〔必要な費用〕 教材費：0円 検定費：0円					
〔履修にあたっての留意点〕 本校のPHP基礎を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。)					
〔実務教員の実務経験〕 WordPressを利用したWebサイト・システム開発業務に従事					
〔備 考〕					
コマ	授業計画・内容				
1	WordPressの概要・環境構築				

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	組込みロボット基礎		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	45コマ(90単位時間)		
担当講師	山口裕	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
ロボットを動作させる為に必要なプログラミング知識を習得し、ロボット走行をコントロールする。またUMLの基礎知識と書き方を身につける。						
〔到達目標〕						
①黒色の路面に沿ってロボットを走行させることができる。 ②PID制御、自己位置推定を理解し実装することができる。 ③モデル図の基本書式を理解し、それに沿った実装をすることができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(60%)、受講態度(30%)、出席率(10%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナル教材						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、ロボット大会について					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発実践		授業科目名	ETロボコン		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	3年～	開講期間	前期
授業方法	演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	山口裕	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
ロボット大会へ参加し入賞を目指す。また、大会を通して実践的なモデル図(UML設計)や組込プログラミングを技術を身につける。						
〔到達目標〕						
①大会に向けて実践的なモデル図が作成できる。 ②モデル図からプログラミングをすることができる。 ③ロボコン大会で入賞する。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(40%)、受講態度(30%)、発表会(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
8月、9月に行われる試走会、本番大会への参加						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナル教材						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
「組込みロボット基礎」を学習済みであること						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、昨年度の大会映像鑑賞					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	DevOps		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	3年～	開講期間	前期
授業方法	演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	鈴木亮	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
DevOpsの考え方や手法を身につけて、アプリケーションやインフラを高速に提供できるようになること。開発の中での自動化を進めて、生産性と品質を確保する方法を習得する。						
〔到達目標〕						
DevOpsの文化を理解する。日々の作業をスクリプトを書くことで自動化する。自動化することで作業の信頼性を高める。問題を手動で解決するのではなく、コードで解決する考え方と方法を習得する。各種DevOpsツールの使い方を理解する。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(80%)、出席率(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：なし						
検定：なし						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
各種フレームワークを活用したWebアプリケーションの開発、クラウドを活用したサーバーレスアプリケーションの開発、TypeScriptを利用したSPAアプリケーションの開発、企業や団体のDX推進、オープンソースソフトウェアへのコントリビュート。						
〔備考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	Python応用(教師あり学習)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	高橋洋平	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
numpy, pandas, matplotlib などのモジュールの使い方を学び、それらを用いた機械学習フレームワーク(scikit-learn)が使えるようになること						
〔到達目標〕						
教師あり学習を用いたモデルが作れるようになること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件: 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目: 課題提出率(40%)、出席率(30%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本校のPython基礎を履修していること。 または、それに当たる能力を有していること。(履修登録する前に教員に相談すること。)						
〔実務教員の実務経験〕						
SIer として金融系のシステム開発に従事						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	G検定対策		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	講義		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	エッジテクノロジー株式会社	講師区分	実務教員	分類	必修選択	
〔授業のねらい・概要〕						
AI・ディープラーニングについて体系的に学び、「AIで何ができて、何ができないのか」「どこにAIを活用すればよいか」「AIを活用するためには何が必要か」が理解する。						
〔到達目標〕						
AI・ディープラーニングについて体系的に学び、その習得度を図るためにG検定（ジェネラリスト）を受験し、合格をすることを目指す。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 検定試験(50%)、定期試験得点率(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：深層学習教科書ディープラーニングG検定(ジェネラリスト) 公式テキスト 第3版(3,080円)、徹底攻略ディープラーニングG検定ジェネラリスト問題集 第3版(2,750円)						
検定：日本ディープラーニング協会 G検定						
〔必要な費用〕						
教材費：5830円						
検定費：5500円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本講義は、株式会社エッジテクノロジーより派遣される非常勤講師によるオンライン講義となります。従って、講義受講には、オンライン受講ができる端末とヘッドフォン等の聴講機器が必要になります。 本講義は、G検定の受験対策講義ですので、G検定の受験は必須です。受験日は9月第1週の土曜日です。指定日の本試験を受験できなかった学生の単位認定は、受験結果が得られるまで評価保留となります。						
〔実務教員の実務経験〕						
本講義は、株式会社エッジテクノロジーが契約したフリーランス講師によるオンライン講義となります。 得意分野：時系列分析、複雑系、機械学習、深層学習。 得意技術：Python, Julia. 得意業務：機械学習だけでなく数学や統計学を使った広い意味でのデータ分析。 経験：機械学習の論文の実装・機械学習や統計学を使ったデータ分析・データ分析の試験問題作成・塾講師						
〔備考〕						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	E資格対策		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	3年～	開講期間	後期
授業方法	講義		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	高橋洋平	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
日本ディープラーニング協会が認定しているプログラムでの学習を通してAIに関する高度な知識を習得する						
〔到達目標〕						
E資格認定プログラムのすべてのカリキュラムを受講すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 出席率(50%)、受講態度(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：日本ディープラーニング協会 認定教材						
検定：日本ディープラーニング協会 E資格						
〔必要な費用〕						
教材費：150000円						
検定費：22000円						
〔履修にあたっての留意点〕						
E資格を受験するには日本ディープラーニング協会の認定プログラムを受講している必要があります。そのため、本科目はその認定プログラムを受講するような科目になっております。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	ポートフォリオ制作		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期/後期
授業方法	演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
各自テーマを定めてWebページまたはアプリケーションを開発し、自身の就職活動用のポートフォリオとして活用する						
〔到達目標〕						
ポートフォリオ用の作品を1つ以上完成させること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(50%)、受講態度(50%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
JavaScriptを使用したWebサイト・アプリケーションの制作・開発業務に従事						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	ファイナンシャルプランナー		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	松高久美子	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
個人資産に関する基礎知識を体系的に学び、総合的な資金計画を立てる力を身に付ける。						
〔到達目標〕						
資金計画・運用の基本的用語が理解できる。 基本的な保険・年金制度、税金制度、相続等の仕組みが理解できる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(30%)、課題の内容評価(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
授業時間内に課題が作成できない場合は、時間外で作成すること。						
〔教材・検定〕						
教材:FP3級合格のトリセツ 速習テキスト[東京リーガルマインド] 検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:1600円 検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
使用テキストを抜粋した授業構成となります。						
〔実務教員の実務経験〕						
会計事務所に3年間勤務						
〔備考〕						
使用テキストに従って学習することで、FP3級の資格取得が可能です。						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、ライフプランニングとは					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	デザインツール(Photoshop/Illustrator)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	前期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	小國孔志郎	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
Web制作におけるデザインの役割を理解し、Adobe IllustratorとPhotoshopを用いて、Webサイトのビジュアル要素を制作するスキルを習得する。						
〔到達目標〕						
①IllustratorとPhotoshopのインターフェースと基本的なツールを理解し、操作できる。 ②Webサイトのロゴ、アイコン、バナーなどのデザイン要素を制作できる。 ③Webサイトで使用する写真の加工、補正、合成ができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(80%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、環境構築					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発演習		授業科目名	スマホアプリ開発(Flutter)		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	後期
授業方法	講義&演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	佐々木磨生	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
プログラミング言語「Dart」とUIフレームワーク「Flutter」の基礎を習得する。						
〔到達目標〕						
プログラミング言語「Dart」の基礎を理解すること。 Flutterを用いて、スマホアプリの開発ができること。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題提出率(40%)、課題の内容評価(40%)、受講態度(20%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
時間内に終わらない課題は放課後等の時間を活用して取り組むこと						
〔教材・検定〕						
教材：Flutter実践開発 ——iPhone／Android両対応アプリ開発のテクニック						
検定：なし						
〔必要な費用〕						
教材費：3740円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発実践		授業科目名	修了制作/卒業制作		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期/後期
授業方法	演習		授業コマ数	75コマ(150単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
自ら考えた企画をもとに計画的に作業をし、アプリケーションを完成させることができる						
〔到達目標〕						
IT企業の方々のレビューを通じて実務へのイメージを具体化し、実務経験者からの評価を得るとともに、卒業制作展でアプリを展示し、一般の来場者からも評価されるようなアプリを開発すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(40%)、発表会(30%)、受講態度(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
進捗が遅れている場合は授業時間外でキャッチアップすること						
〔教材・検定〕						
教材：						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
JavaScriptを使用したWebサイト・アプリケーションの制作・開発業務に従事						
〔備 考〕						
内部レビューは学内教員によってレビューします。 外部レビューはIT企業のエンジニアの方などにお越しいただき評価してもらいます。 開発した作品は卒業制作展にて展示します。						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	ITパスポート特講		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	集中講義
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師		講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
ITパスポート試験に向けて問題演習を通して合格するための知識を獲得する						
〔到達目標〕						
ITパスポート試験に合格すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(20%)、検定試験(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：模擬試験問題、過去問題						
検定：ITパスポート						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備考〕						
ITパスポートの受験は必須ではないが、成績評価項目に入っているため、受験を強くお勧めします。 なお、全員受験で無いため検定費の徴収はございません。 検定申し込み時の受験料は学校経由ではなく、ご自身で支払いをしてください。						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論		授業科目名	基本情報科目A特講		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	集中講義
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師		講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
基本情報技術者試験科目A試験に向けて問題演習を通して合格するための知識を獲得する						
〔到達目標〕						
基本情報技術者試験科目A試験、または科目A免除試験に合格すること						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(20%)、検定試験(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：模擬試験問題、過去問題						
検定：基本情報技術者試験						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
基本情報技術者試験の受験は必須ではありませんが、成績評価項目に入っているため、受験を強くおこな なお、全員受験で無いため検定費の徴収はございません。 検定申し込み時の受験料は学校経由ではなく、ご自身で支払いをしてください。						

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	情報システム概論	授業科目名	基本情報科目B特講		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	1年～	開講期間	集中講義
授業方法	講義	授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師		講師区分	必修選択	分類	一般教員
〔授業のねらい・概要〕 基本情報技術者試験科目B試験に向けて問題演習を通して合格するための知識を獲得する					
〔到達目標〕 基本情報技術者試験科目B試験に合格すること					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(20%)、検定試験(30%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材：模擬試験問題、過去問題 検定：基本情報技術者試験					
〔必要な費用〕 教材費：0円 検定費：0円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備考〕 基本情報技術者試験の受験は必須ではありませんが、成績評価項目に入っているため、受験を強くおこなお、全員受験で無いため検定費の徴収はございません。 検定申し込み時の受験料は学校経由ではなく、ご自身で支払いをしてください。					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	情報システム概論	授業科目名	応用情報技術者試験特講		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科	履修年次	1年～	開講期間	集中講義
授業方法	講義	授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師		講師区分	必修選択	分類	一般教員
〔授業のねらい・概要〕 応用情報技術者試験に向けて問題演習を通して合格するための知識を獲得する					
〔到達目標〕 応用情報技術者試験に合格すること					
〔成績評価基準〕 評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 定期試験得点率(50%)、受講態度(20%)、検定試験(30%)					
〔授業時間外に必要な学習内容〕					
〔教材・検定〕 教材：模擬試験問題、過去問題 検定：応用情報技術者試験					
〔必要な費用〕 教材費：0円 検定費：0円					
〔履修にあたっての留意点〕					
〔実務教員の実務経験〕					
〔備 考〕 応用情報技術者試験の受験は必須ではありませんが、成績評価項目に入っているため、受験を強くおこなお、全員受験で無いため検定費の徴収はございません。 検定申し込み時の受験料は学校経由ではなく、ご自身で支払いをしてください。					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校

単位名	システム開発実践		授業科目名	開発ハッカソン		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	集中講義
授業方法	演習		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	金野宇晃	講師区分	必修選択	分類	実務教員	
〔授業のねらい・概要〕						
チームによるシステム開発演習を通して、開発手法やチーム開発で必要となるコミュニケーション能力を身につける						
〔到達目標〕						
コミュニケーションを取り、チームでのシステム開発を円滑に行うことができる						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(30%)、発表会(30%)、受講態度(40%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
〔実務教員の実務経験〕						
WordPressを利用したWebサイト・システム開発業務に従事						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1	オリエンテーション、チームビルディング					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	就職試験対策①		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	1年～	開講期間	後期
授業方法	講義		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	松高久美子	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
就職活動を始めるにあたり、仕事選びの軸を明確するための企業研究と自己分析、および提出書類作成の知識を習得する。また、自分自身を他者にわかりやすく伝えるための面接対策を実施する。						
〔到達目標〕						
自身の適性に合った職種、企業を考えることができる。 就職活動において必要な応募書類を適切に作成できる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 課題の内容評価(50%)、受講態度(40%)、出席率(10%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材:オリジナル						
検定:						
〔必要な費用〕						
教材費:0円						
検定費:0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
授業時間内に課題が作成できない場合は、時間外で作成すること。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	就職試験対策②		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	集中講義
授業方法	講義		授業コマ数	30コマ(60単位時間)		
担当講師	細川潤哉	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
仕事選びの軸を明確するための企業研究と自己分析、および提出書類作成の知識を習得する。また、自分自身を他者にわかりやすく伝えるための面接対策を実施する。						
〔到達目標〕						
自身の適性に合った職種、企業を考えることができる。 就職活動において必要な応募書類を適切に作成できる。 就職活動において実施される筆記試験・面接試験への適切な準備ができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(35%)、受講態度(35%)、出席率(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本授業は、就職試験対策①を履修済みの学生のみが受講できます。授業時間内に課題が作成できない場合は、時間外で作成してください。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～30	企業研究・応募書類準備 & 面接対策(面接問答作成・添削、OpenES作成、模擬面接)					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	就職試験対策③		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	前期
授業方法	演習		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	細川潤哉	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
就職試験において実施される筆記試験、面接試験、適正試験の合格を目指し、自己分析をはじめとする準備・活動を行う。						
〔到達目標〕						
・SPI試験において、一定レベル以上の評価を得ること。 ・CAB・GAB試験、プログラマ適正試験等において、一定以上の評価を得ること。 ・面接試験において、一定以上の評価を得られる回答ができること。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること						
評価項目： 受講態度(40%)、課題の内容評価(30%)、小テスト得点率(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材：専門学校生のための 就職筆記試験対策問題集 [Webテスト付き](1320円)						
検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：2860円						
検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本授業は、就職試験対策①を履修済みの学生のみが受講できます。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～10	自己分析、筆記試験対策(SPI、CAB、GAB)、面接試験対策(問答作成、面接練習)					

授業シラバス

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

単位名	キャリアデザイン		授業科目名	就職試験対策④		
受講可能学科	情報システム科、総合システム工学科、高度情報工学科		履修年次	2年～	開講期間	集中講義
授業方法	講義		授業コマ数	15コマ(30単位時間)		
担当講師	細川潤哉	講師区分	必修選択	分類	一般教員	
〔授業のねらい・概要〕						
仕事選びの軸を明確するための企業研究と自己分析、および提出書類作成の知識を習得する。 また、自分自身を他者にわかりやすく伝えるための面接対策を実施する。						
〔到達目標〕						
自身の適性に合った職種、企業を考えることができる。 就職活動において必要な応募書類を適切に作成できる。 就職活動において実施される筆記試験・面接試験への適切な準備ができる。						
〔成績評価基準〕						
評価の前提条件： 出席率が80%以上であること、および、各評価項目がすべて「可」以上であること 評価項目： 課題の内容評価(35%)、受講態度(35%)、出席率(30%)						
〔授業時間外に必要な学習内容〕						
〔教材・検定〕						
教材： 検定：						
〔必要な費用〕						
教材費：0円 検定費：0円						
〔履修にあたっての留意点〕						
本授業は、就職試験対策①および②を履修済みの学生のみが受講できます。授業時間内に課題が作成できない場合は、時間外で作成してください。						
〔実務教員の実務経験〕						
〔備 考〕						
コマ	授業計画・内容					
1～15	企業研究・応募書類準備 & 面接対策(面接問答作成・添削、OpenES作成、模擬面接)					

